



徳島県歯科医師会口腔保健センター部長 佐藤修齋 さとうしゅうさい

Dr.佐藤の 歯医者さんは今

Vol.38

”入れ歯ケア“ワンポイントシリーズ②

『入れ歯の汚れは 水分を拭き取って よく観察しましょう』

入れ歯の手入れは、自分では十分できていると思っただのに、歯科医から入れ歯の汚れを指摘されたことはありませんか。

これは、入れ歯を入れている方は、いつも入れ歯を濡れた状態で見ていることに対して、歯科医は、入れ歯を乾かして調整等を行っていることによりです。

つまり、入れ歯は濡れていると、歯垢や歯石などの汚れが見えにくいということなのです。

自分の歯には歯石が付着するということはご存知と思いますが、入れ歯にも歯石が

付きます。とくに付きやすい部位は、舌下腺・耳下腺など、いわゆる大唾液腺のすぐそばの、下顎前歯の内側や上顎奥歯の外側です。

下顎入れ歯の前歯の内側には、ほとんどの方に歯石が付着しています(写真1)。

ところが、歯石が付いていることを認識している方は、ほとんどいません。入れ歯が濡れているために、見えにくくなっているのです(写真2)。

そこで、入れ歯ケアの二環として、ときどき入れ歯の水分をタオルやティッシュペーパーで拭き取ってみましょう。汚れの付着部位を確認して、よ

く磨きましょう。

ただし、歯石は義歯用ブラシで磨いても取れませんが、歯科医院で研磨してもらってください。

歯石

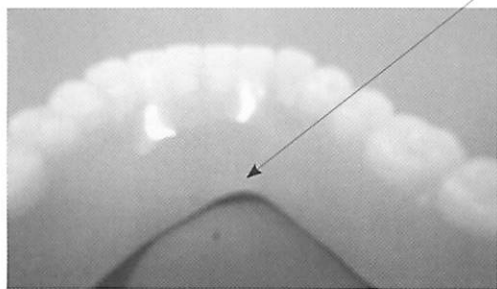


写真2:濡れた状態では、ほとんど見えません。

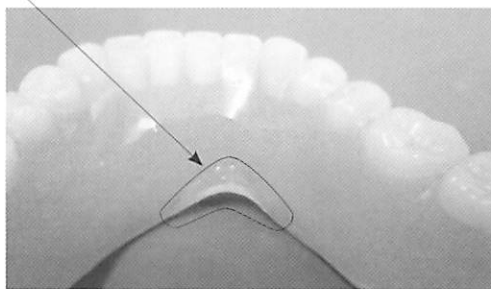


写真1:乾燥状態では、よく見える白色の歯石